

物部川清流保全推進協議会部会「ゴミ対策を進めるWG」要旨

日 時：平成22年8月31日 10:00～12:00

場 所：のいちふれあいセンター 香南市野市町西野 534-1

内 容

1. 事務局（環境共生課）より、平成22年度に重点的に取り組むテーマ、平成22年度スケジュールの説明
2. 各出席団体が、資料「物部川の清流保全対策のステップアップシート」を作成し、
 - 今後の重点対策（現在やっていること、新たにやること）
 - 他の団体と連携・協働を行うこと（人、物、資金、情報等）を発表した。

〈JAとさかみ〉

- ・青壮年部が中心に、清掃活動。農業用資材、廃プラを定期的に回収している。
- ・組合員には広報誌で周知。
- ・流域では各種団体が清掃活動を実施しているが、情報が共有化できていない。共有化できればもっと広がり、連携が取れる。

〈物部川漁協〉

- ・一斉清掃に参加している。毎年7月の国交省主催の一斉清掃にも参加。
- ・流域内で情報交流すれば、いろんな団体が参加できる。
- ・野市小学校からの依頼で、水中鉄砲、水中メガネを貸し出ししている。

〈ごみのない物部川をつくる連絡会〉

- ・ラブリバーパートナーシップは物部川では5団体と少なく、西側はエリアが埋まっているが、東側（野市側）があまり埋まっていない。他の団体に加入の呼びかけが必要。
- ・参加団体を増やすため広報活動に重点をおきたい。
- ・山に不法投棄が多い。看板はあるが効き目がない。

〈香美市〉

- ・不法投棄防止の広報に力を入れている。パトロールをシルバー人材センターにお願いし、情報をもらって市が収集している。
- ・監視カメラを3台設置したところ、不法投棄は減少したが犯人を捕まえるまではやっていない。
- ・年1回一斉清掃を実施している。
- ・農業残さのゴミが多い（ねぎ、にら）。JA、普及所と連携して農家の指導を実施。
- ・大雨のたびに、上流から流木が流れてくるので困っている。→ 薪にして家庭へ配布。

〈香南市〉

- ・物部川に限定すれば国交省主催の清掃やイベント前後の清掃を実施。香南市内のゴミ対策として不法投棄パトロールを実施。
- ・流域連携による広報活動。
- ・水産関係では、海岸へ流木がたくさん漂着し苦慮している。漁業者の網にかかったことがあり、自分で修理している。雨のたびに流れてくるが、どこから流れてくるのか原因が分からない。漂着物の処理は緊急雇用の予算で処理したが一度だけしかできない。

〈南国市〉

- ・物部川、海岸、市内全域と一斉清掃は年3回。住民へ広報している。ゴミを集める場所を市へ連絡しておけば、市が回収している。

〈国交省〉

- ・下流の管理区間の処分費は、H21は400万円。(H19は1千万以上あった)
- ・特に不法投棄防止に力を入れている。
- ・毎年7月第1週に、国交省主催で一斉清掃を実施している。
- ・週5日の河川巡視を実施している。(夜間、土日実施も検討)
- ・不法投棄防止の看板設置。
- ・河川区域内の樹木伐採を実施。
- ・一斉清掃の広報は、ホームページ、マスコミへ連絡している。ただし、新聞が取り上げてくれない場合がある。
- ・吉野川ではゴミ対策として鳥居を設置している。鳥居があればゴミを捨てにくいという効果がある。

〈高知工科大学〉

- ・物部川ウォーキングを実施している。
- ・清掃の後に農家の方と食事をしたい。
- ・清掃婚活パーティー。(男でも清掃ができることを見せたい)

〈意見交換〉

- ・物部川流域では、龍河洞や美しい棚田がたくさんある。この自然をいつまでも守っていききたい。今日の会でぜんぜん知らないことがたくさんあった。行政は監視、パトロールで苦勞している。一人一人がお客さんではなく、当事者となって考えていかないとゴミ問題は解決しない。
- ・四万十川の一斉清掃は大人が子どもを連れてくる。少年サッカーの練習の後に清掃もしている。ゴミを捨てるのは大人でも、子どもをつれてこないダメ。子どもが清掃をして川のことを思わなければ後世へつながらない。
- ・南国市から物部川へ、子どもは自転車で行けない。3市で連携してバスが出ないか。
→南国市にバスは1台(28人乗り)のみ。
- ・7月4日の一斉清掃では、参加者のほとんどが市の職員。地元の人参加が少ない。
- ・南国市内では川で泳いではいけないことになっている。子どもを川へ連れて行って、体験を通じて川遊びの楽しさを子どもに伝えたい。
- ・子どもを川へ連れて行くにも、現在は物部川が濁っている。濁水対策が急務。
- ・農業用のゴミ対策は、農家へ広報をしているが、農協職員の意識改革も必要。一斉清掃の情報共有を進めれば、もっと農家の意識も高まる。
- ・一斉清掃にどれぐらいの人に参加してもらうか。広報の充実が必要。
- ・8月はじめに、アクアリブルネットワークの主催により環境学習バスツアーを開催した。

まとめ

以下のテーマを次回WGまで宿題とする

◆一斉清掃への参加者の拡がり

- ・情報共有
- ・いかにして清掃活動へ人を連れてくるか
- ・子どもの参加をどうやって増やしていくか

◆不法投棄防止パトロールの充実

- ・単独でのパトロールでは解決困難
- ・なぜ、流木の流出が起こるのか
- ・一緒に考えていく場、連携の仕組みづくり

物部川ゴミ学

◆広報の充実